

製品名: Bcl-6 (3J5) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe07506**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.33mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:2000,IF-P 1:200-1:2000
分子量	79kDa

抗原情報

遺伝子名	BCL6
別名	B-cell lymphoma 6 protein; BCL-6; B-cell lymphoma 5 protein; BCL-5; Protein LAZ-3; Zinc finger and BTB domain-containing protein 27; Zinc finger protein 51; BCL6; BCL5; LAZ3; ZBTB27; ZNF51
遺伝子 ID	604.0
SwissProt ID	P41182
免疫原	ヒト BCL-6 の組み換えタンパク質

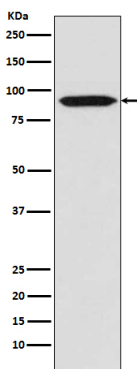
背景

転写抑制因子である Bcl-6 は、Stat 認識様 DNA エlement に結合し、胚中心の発達と細胞分化に影響を与えます。さらに、Bcl-6 は NFκB の発現を負に制御し、NFκB を介した細胞機能を阻害します。HDAC およびサイレント情報調節因子 (SIR) -2 依存性の Bcl-6 のアセチル化は、ヒストン脱アセチル化酵素 (HDAC) を含む複合体をリクルートする Bcl-6 の能力を阻害することで、活性をダウンレギュレーションします。転写抑制因子は主に胚中心 (GC) 形成と抗体親和性成熟に必要であり、その作用機序は系統および生物学的機能に特異的です。様々なコリプレッサーおよびヒストン脱アセチル化酵素と複合体を形成し、標的遺伝子の異なるサブセットの転写発現を抑制します。DNA 配列 5'-TTCCTAGAA-3' (BCL6 結合部位) に直接結合するか、転写因子の転写活性を間接的に抑制することで、標的遺伝子の発現を抑制します。GC B 細胞では、分化、炎症、アポトーシス、細胞周期制御に機能する遺伝子を抑制し、転写発現を自己調節し、miR155 などのマイクロ RNA 発現の抑制を介して、AICDA などの GC 反応に重要な遺伝子の発現を間接的に上方制御します。重要な機能は、GC B 細胞が T 細胞依存性抗原に反応して非常に急速に増殖できるようにし、p53/TP53 依存性アポトーシス応答を誘導することなく、免疫グロブリンクラススイッチ組換えと体細胞超変異に必要な生理的 DNA 切断を許容することです。濾胞性ヘルパー CD4(+) T 細胞 (T(FH) 細胞) では、T(FH) 関連遺伝子の発現を促進しますが、T(H)1、T(H)2、および T(H)17 細胞の分化を阻害します。また、T 細胞と B 細胞の両方の免疫記憶の確立と維持に必要です。CCL2 や CCND2 などの特定の標的遺伝子に結合する STAT 結合モチーフをめぐって STAT5 と競合することにより、マクロファージの増殖を抑制します。遺伝毒性ストレスにตอบสนองして、p53/TP53 依存性および非依存性の両方の方法で GC B 細胞の細胞周期停止を制御します。さらに、脱アセチル化酵素 SIRT1 のリクルートメントを含む、HES5 などの選択的 NOTCH 標的での NOTCH 依存性転写複合体の構成の変更を介して神経新生も制御し、その結果として神経分化につながるエピジェネティックなサイレンシングが引き起こされます。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



発現 Daudi 細胞溶解物中の Bcl6 のウェスタンブロット分析。